

本気で目指すか、「日本一！」

その他の
質問事項

- ▼ 高ボッチ高原の整備について
- ▼ 公職選挙の投票率について

日本共産党
おざわ しょういち
小澤 彰一



◆子育て日本一

問 「日本一」を目指すなら3歳未満児について同等の保育料減免を行うべきではないか。

答 3歳未満は親子の愛着形成に重要な時期。3歳以上の保育を手厚くしている。

問 東京医大の女性受験者差別にみられるように、女性の働く環境がまだ保障されていない。来年の保育無償化に向けてのよな対応をするのか。

答 ここに住む人すべてが幸せになることを目指している。保育士の負担軽減を図っていきたい。

◆滞在型観光への転換

問 市内観光は通過型が主流となっている。夜の交流の場や夜景ツアー、一定の技術を習得する体験合宿など、宿泊したくなる企画はできないか。

答 観光客の移動は広域化の傾向にある。温泉のある地に宿泊する傾向も

ある。一部には興味深いテーマや地域を絞った旅行の傾向もあり、そうした需要を取り込むことも検討したい。

◆河川の樹木整理

問 西日本の豪雨被害では、流木が甚大な被害をもたらす要因の一つとなった。河川敷の樹木の対策を考えているか。

答 一級河川については県が管理して伐採を行っている。市町村の管理する準用河川区域と河畔林に県の森林税から補助金も支給される。適正な管理を行っていきたい。

要望 伐採木も燃料のほか、粉碎し遊歩道の整備などに活用してほしい。



濁流の奈良井川河川敷

三世同居は少子化対策のキーワード



市政同志会2015
しのはら としひろ
篠原 敏宏

その他の
質問事項

- ▼ 希望出生率について
- ▼ 市機関の障がい者雇用の状況について

◆三世同居補助金制度 新設を

問 松本市の三世同居近居支援制度が、少子化対策、空き家対策として有効に機能していると聞く。本市にも同様の制度導入の考えはないか。

答 塩尻市県産木材住宅普及促進事業補助金の中に同居、近居の条件を満たせば補助金10万円上乗せの条項がある。

要望 核家族化、単独世帯化と平行して出生率の低下が進んだわが国で、三世同居というライフスタイルは、今後出生率を回復させる少子化対策の最大のキーワードになると考える。「三世同居がしやすいまち・塩尻」をもっと前面に出していくことを望む。

◆榑川地区の防災無線更新計画

問 榑川地区の同報系の防災行政無線施設について、更新の計画はどうか



榑川地区防災行政無線の屋外子局マスト

っているか。

答 榑川地区の防災行政無線はアナログ式で19年が経過するので、31年度の支所の移転に合わせ、旧市域に整備したデジタル方式を拡張する方向で更新する。本年度中に関係工事の設計を完了したい。

問 各家庭に配置されている戸別個別受信機はどうなるか。

答 これまでのように市が全戸に設置することはできない。旧市域と同様、希望する住民には有償にて個人で設置していただくことになる。この場合、補助制度があるので今後地域への説明の場を設けていきたい。